

第七號議案 工場法違反摘發の件

長崎印刷技工組合提出

六

主 文
工場法の規定に則し、賃金不拂ひ其の他の脱法工場に對し監督官廳の徹底的取締りを期す。

山
印刷業界はインフレ景氣の高潮と共に漸次好況の歩調を示してゐるに、わらず、競争入札と同業組合の不統制に依り労働者の生きる糧である労働賃金を不償にも不拂にするが如きは社會正義上、將に斷罪に處さるべき罪である。
企業家が工場閉鎖その他の場合に賃金に對し労働者の先取權が法定されてゐるにも關らず、民法第三百六條、三百九條に於て債權者の低當權行使に依る強制競賣の場合、事實上、労働者が賃金を取得するは極めて困難である。我等は監督官廳に、賃金不拂に對し嚴重なる取締の徹底化を要請すると共に法規の完璧を期し以て労働賃金を確守せむとするのである。

實 行 方 法
新執行委員會は各工場毎に、調査して工場法の違反を摘發し、更に總同盟本部に申達して社會大衆黨本部と協力し議會の問題として労働賃金保護法制定を要求する猛運動を展開する。

第八號議案 セメント産業國家統制と

セメント聯合會アウトサイダーに關する件

セメント労働組合門司支部提出

主 文
吾等はセメント産業の國家統制を要望すると共に、其の前提として現存するセメント聯合會擴大の爲未加盟工場アウトサ

イダーに向つて聯合會に加盟を要請す。

山
文化の進むに伴れて大衆生活に必要欠く可からざるセメント産業の重大性は此所に贅言する迄もない。目下、本産業は資本家のトラスト、セメント聯合會ありて製産販賣量の協定が行われて居る。而して五割何分の生産制限を今實施して居るが又一面には各社競つて工場を擴張し新設會社は雨後の筍の如く創設せられつゝある状態である。之れ全く資本主義自由經濟より來る缺陷であつて必然的に其れ等より生ずる無理は悉く吾等労働階級に轉嫁される。元來重要産業の國家統制は吾等の根本主張である。

セメント産業國家統制の前提として、先ず不完全乍ら現在のセメント聯合會に全日本のセメント製産者が加盟する事を必要と認むる次第である。

其の上にて吾々は之の聯合會のやる事を監視するのである。

實 行 方 法
大會決議をセメント聯合會に送達して、全セメント産業者の加盟に最大の努力を乞ひ、監督官廳に陳情して全業者のセメント聯合會加盟に斡旋を乞ふ。

第九號議案 福岡縣産業委員會設置要求に關する件

本部執行委員會提出

主 文
福岡縣に於ける産業と労働を統制する福岡縣産業委員會の設置を期す。

山
九州聯合會は第五回年次大會決議を以て勞資懇談會の開催を提唱し、小栗福岡縣知事、吉田協調會常務理事並に北九州の進歩的な代表的事業主諸氏の熱烈なる協力、支持に依り、賞讃的成功を収め、この成功が契機となつて勞資懇談會の全國

七